

看護学科

3年

科目名: 小児看護学実習				担当教員氏名: ()、古里直子、稲垣尚恵 他	
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	必修・選択	備考
2	2~3年次 通年	専門科目	実習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:		看護師の実務経験を生かして指導看護師と共に臨床看護や対象児とその家族の健康問題、心理状態を理解できるように指導を行う			
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード	
子どもの成長・発達や生活環境の特徴を理解し、子どもと家族の健康を支える地域での医療・保育・施設における看護支援から「子どもの最善の利益」を考えることができる。人間性と倫理性を身につけ、それぞれの健康のレベルに応じた看護支援の実践を学ぶ。				健康障害・家族のニード・看護支援・成長・発達・地域支援	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (短履マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 6. 7. 8.	
A 知識・理解力	①発達段階、疾患などさまざまな状態にある子どもとその家族に生じやすい問題について理解する。				
B 専門的技術	②子どもの最善の利益を追求する態度と支援について学ぶ。				
C 論理的思考力	③子どもとその家族のニードに応じた援助のあり方を学ぶ。				
B 専門的技術	④地域で暮らす子どもと家族に対する看護師の役割と対処を学ぶ。				
E 自己管理能力	⑤実習中の自己の健康管理ができ、欠席しない。				
F チームワーク・リーダーシップ	⑥グループ内での役割(リーダーシップ、メンバーシップ)を持ち、実習を遂行できる。				
G 倫理観	⑦適切な報告、連絡、相談ができる。 ⑧真摯な態度で実習に臨むことができる。				
H コミュニケーション力	⑨実習にかかわる人々と意思疎通ができる。				
成績評価の基準と方法: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: %	レポート: 50 %	発表: 10 %	実技: 30 %	その他: 10 %	
特記事項: 以下により総合的に評価する。 出席状況・実習記録類・課題レポート・実習中の学習態度 * 提出物は期限を厳守すること。 * 原則として遅刻、欠席は認めない。					
アクティブラーニング要 課題解決型学習 <u>ディスカッション、デイ</u> <u>グループワーク</u> プレゼンテーション <u>実習、フィールドワーク</u>					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 病院と保育園では、木曜日に施設内カンファレンスを実施。学内では、毎週金曜日に学内カンファレンスを実施。カンファレンスの中で各自の学びを発表し、グループダイナミクスを活かした学びを共有する。最終評価は、最終日の金曜日に実習記録の内容をもとに個別に面談を行う。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 事前学習、実習中の学習態度、記録物や課題レポートなどについて実習の段階的な場面でコメントや助言を返し、最終の面談の中で総合的に評価する。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
2・3年次 2単位: 90時間 実習施設: ・富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 1W ・小児科診療所(外来・クリニック) 1W ・西部保育園 1W * 詳細については実習要項に記載			学 習 内 容 【予習】: 事前課題 ①小児の成長・発達 ②小児の疾病治療・看護 ③障がい児看護 【復習】: 国家試験につなげる学習(知識と体験の統合)		学習に必要な時間(分) 【予習】120分 【復習】120分
使用テキスト: ・系統看護学講座 小児看護学① 医学書院 ISBN 978-4-260-02002-2 ・系統看護学講座 小児看護学② 医学書院 ISBN 978-4-260-01990-3 ・写真でわかる小児看護技術 改訂第3版 インターメディカ出版 ISBN 978-4-8996-344-8 ・ナースの小児科学 中外医学社 ISBN 978-4-498-07579-5			その他参考文献など: 写真でわかる重症心身障害児のケア インターメディカ出版 ISBN: 978-4-89996-363-9		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ・子どもは発達段階に応じた関わりが必要です。看護師として「子どもの最善の利益」を守る関わりを意識しながら実習を進めてください。 * 遅刻、欠席は原則として認めません。感染防止と自己健康管理に留意し実習に臨んでください。					